## 1 いわて県民計画(2019~2028) 第2期政策推進プラン いわて幸福関連指標一覧表

O 達成度: 各年度の目標値に対する達成率 (%) に応じて右表のとおり判定しています。

目標達成率=(年度実績値)/(年度目標値)×100

〇 目標達成率の計算式 ① 通常の指標 (R3現状値から数値を上げる目標の場合) : (年度実績値-R3現状値等)/(年度目標値-R3現状値等)×100 ② マイナス指標 (R3現状値から数値を下げる目標の場合) : (R3現状値等-年度実績値)/(R3現状値等-年度目標値)×100 ③ 維持指標等 (R3現状値等を維持する目標等の場合) : (年度実績値)/(年度目標値)×100又は(年度目標値)/(年度実績値)×100 ※ この計算式により難い場合は、次の計算式により算出しています。

達成度 目標達成率 達成【A】 100%以上 概ね達成【B】 80%以上100%未満 やや遅れ【C】 60%以上80%未満 遅 れ【D】 60%未満

【補足】 ▼印の指標は、R3現状値等から数値を下げることを目標とするものです。 ・◆印の指標は、R3現状値等を維持することを目標とするものです。

・囲み数字は掲載データの年度を表しています。 ・実績値が確定していないなどの理由で、達成度の判定ができない又は適当でない指標は「-」と表示しています。 ・「4つの重点事項」は、第2期政策推進プランに掲げる「自然減、社会減対策」「GXの推進」「DXの推進」「安全・安心の確保」との関連性を示しています。 (詳細は、「https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1018014/1019685.html」(岩手県 - いわて県民計画(2019~2028)「長期ビジョン」・「アクションプラン」)を参照。) ・「KPI」は、「第2期岩手県ふるさと振興総合戦略(令和6年12月改訂)」におけるKPIと兼ねている指標です。

指標				指標の状況							4	全国順位	位	東北順位 指標の動向が芳しくない要因				4つの重					
政策 分野 項目 は 項目 は がわて 幸福関 連指標 は を 指	指標名	単位 現状値 (R3)	R5	年度目標値 R6	R7	計画目標値(R8)	実績値 R5 R6		達成度 R5 R6	<b>進捗率</b> (対R8目標)	R3	R6	R3との 比較	R3 R6	6 R3	3との (達成度がC又はDとなった理由) 比較	目標値設定の考え方 P3を単性80.22 女性84.75と見込み 第1期	算出式		自然 減,社 GX 会減	安全 DX · 安心		I 指標名
健 康 · 1~3 1 余 暇	健康寿命[平均自立期間]	年 男② 80.03	<b>4</b> 80.42	\$ 80.61 <b>6</b>	80.80	⑦ 81.00	<b>4</b> 79.64	- [	D –	未確定	_	_		_	_		R3を男性80.22、女性84.75と見込み、第1期 アクションプランとの継続性・整合性も考慮 し、R5以降、全国の過去5年間の平均寿命 の伸びを上回る伸びとして、過去3か年の 健康寿命の伸び(男0.193、女0.163)を毎年 延伸することを目指します。				0 0	166	健康寿命[平均自立期間] 男
1~3 2		年 女② 84.59	<b>4</b> 84.92	\$ 85.08	85.24	⑦ 85.41	<b>4</b> ) 84.25	- [	D –	未確定	_	_	_	_	_	-	R3を男性80.22、女性84.75と見込み、第1期 アクションプランとの継続性・整合性も考慮 し、R5以降、全国の過去5年間の平均寿命 の伸びを上回る伸びとして、過去3か年の 健康寿命の伸び(男0.193、女0.163)を毎年 延伸することを目指します。	介護保険被保険者における5歳階級毎の 要介護者(要介護2以上)を「不健康」と定 義し、その人数及び平均余命などを基に、 要介護となる期間を算定し、平均寿命(0 歳時点の平均余命)から控除	県保健福祉部調べ	0	0 0	167	女
1 3	▼がん、心疾患及び脳血管疾患で 死亡する人数[10万人当たり]	人 男② 283.4	<b>4</b> 266.6	(5) 259.6 (6)	252.6	7 245.8	<b>4</b> 278.9 <b>5</b> 28	80.9	D D	6.6	-	_		_	_	男性、女性ともに長期的には減少している - ものの、がんや男性の心疾患が近年横ば	延伸することを目指します。 R3を男性273.8、女性135.7と見込み、国と 県の年齢調整死亡率のH29の格差(男性 42.7、女性18.3)をR8までに1/2(男性21.4、 女性9.2)に縮小することを目指します。	    がん、心疾患及び脳血管疾患の合計の			0		▼がん、心疾患及び脳血管疾患で 死亡する人数[10万人当たり] 男
1 4		人 女② 154.5	<b>4</b> 131.9	<b>⑤</b> 128.1 <b>⑥</b>	124.5	⑦ 120.9	<b>4</b> 151.1 <b>5</b> 14	49.4	D D	15.2	-	_			-	- ものの、がんや男性の心疾患が近年横ば	R3を男性273.8、女性135.7と見込み、国と県の年齢調整死亡率のH29の格差(男性42.7、女性18.3)をR8までに1/2(男性21.4、女性9.2)に縮小することを目指します。	がん、心疾患及び脳血管疾患の合計の 年齢調整死亡率の直近3か年の平均値	人口動態統計(厚生労働省)		0		女
1 5	▼自殺者数[10万人当たり]	人 16.2	15.0	14.9	14.7	14.6	20.2	22.3	D D	-381.3	20	47	7 下降	: 1	6		ることを参考に、本県では、基準年(H29= 21.0)から8年間(R7実績)で30%以上減少		人口動態統計(厚生労働省)			169	9 ▼自殺者数[10万人当たり]
3 6	▼75歳以上85歳未満高齢者の要介 護認定率	% 12.3	11.9	11.7	11.5	11.3	11.5 1	11.3	A A	100.0	_	_			_	ました。	す。 R3時点で下位3分の1の水準(全国34位)であることから、R8にR3時点の上位3分の1の水準(全国15位)まで認定率を低減させることを目指します。	75歳以上85歳未満要介護認定者数/75歳	介護保険事業状 況報告(厚生労働 省)	0	0	174	▼75歳以上85歳未満高齢者の要 介護認定率
3 7	訪問診療(歯科を含む)・看護を受けた患者数(10万人当たり)	人 ② 6,508	<b>4</b> 6,781	⑤ 6,921 ⑥	7,064	⑦ 7,210	<b>4</b> 6,946 <b>5</b> 7,	,483 A	A A	138.9	_	_			_	-	本県の訪問医療・看護(人口10万人当たり)の利用者数の伸び率(1.78%)は、医療資源・地理的要件が近い東北6県の平均(年2.07%)を下回っていることから、在宅医療体制の充実を図るため、毎年東北の平均伸び率以上の利用者数を増加させること	神、精神以外)のレセプト件数の合計/各 年人口*10万人	医療計画作成支 援データブック(厚 生労働省)	0	0 0		訪問診療(歯科を含む)・看護を受けた患者数(10万人当たり)
4,5 8	◆余暇時間[一日当たり] ※休日を含む1週間の平均	分 372	382	382	382	382	396	392 A	A A	51.6	_	_			_		の東北1位(382分)を上回り、以後高い水	必要な活動時間と、仕事や家事など社会	査(総務省)、県民	0	0		◆余暇時間[一日当たり] ※休日を含む1週間の平均
4 9	県内の公立文化施設における催事数 ※岩手県内公立文化施設協議会加盟施設のうち、各市所在の主な14施設の催事数	件 -	1,223	1,305	1,388	1,471	1,798 1,	,578 🕹	A A	107.3	_	_	_	_	-	_	R5以降、毎年増加させ、第1期アクションプランの目標値水準以上を目指します。	当該年度の実績	県文化スポーツ 部調べ	0			県内の公立文化施設における催事数 ※岩手県内公立文化施設協議会加盟施設のうち、各市所在の主な14施設の催事数
4 10	スポーツ実施率	% 2 65.4	<b>4</b> 67.2	<b>⑤</b> 68.2	69.1	7 70.0	4 66.8 5 6	68.8	C A	73.9	_	_	_	_	-	_	国の第3期スポーツ基本計画の目標値(R8に70.0%)への到達を目標に、R4以降毎年0.92%の増加を目指します。	県民へのアンケート調査による前年度実 績	県文化スポーツ 部調べ	0		149	3 スポーツ実施率
5 11	生涯学習に取り組んでいる人の割合	% 46.1	47.0	48.0	49.0	50.0	47.0	44.7	A D	-35.9	_	_	_	_	-	生涯学習に取り組んでいる40代以下の割合は50%を超えており、50代の割合も前年度から増加しましたが、60代以上で減少したため、全体的な割合は低迷しました。	毎年1ポイント増加させ、R8までに過去10年間の最大値である47.1%を上回る50%を目指します。	当該年度の実績	県民意識調査(岩 手県) 県民生活基本調 査(岩手県)		0		生涯学習に取り組んでいる人の割 合
1~3	健康寿命[日常生活に制限のない 期間]	年 男① 71.39		-	_	-	- <b>4</b> 70	***************************************	_			_	_		_				厚生労働科学研 究 厚生労働科学研				健康寿命[日常生活に制限のない 期間] 男
1~3 2		年 女① 74.69 % ① 20.9	_	_	_ _	_	<b>4</b> 19.0								_	_			宝民生活基礎調 查(厚生労働省)				女 ————————————————————————————————————
II 家族 ・ 6 12 子育	合計特殊出生率	1.30	1.35	1.42	1.50	1.58	1.16 1	1.09 [	D D	-75.0	36	39	)下降	4	4 横	若い女性の社会減、出会いの機会の減少、仕事と子育ての両立の難しさ、子育て もばい や教育に係る費用負担等の複合的な要因 により、出生数が減少したため、上昇には 至りませんでした。	少子化対策の強化により、「岩手県人口ビジョン」における中長期的な展望(国に準拠し、2040年に出生率2.07)を見据え、R8までにR3時点で全国上位の水準1.58を目指します。	15歳から49歳までの女性の年齢別出生 率の合計	人口動態統計(厚 生労働省)	0	0 0		合計特殊出生率
6,9 13	▼待機児童数[4月1日時点]	人 12	0	0	0	0	27	22 [	D D	-83.3	19	31	下降	4	6	一部の市町村において、子ども・子育て支援事業計画の見込みを上回る利用申込み 下降があったことや、保育人材の不足により受入児童数の拡大が困難であったことなどにより、待機児童が発生しました。		当該年度の実績	保育所等利用待 機児童数調査(子 ども家庭庁)	0	0		▼待機児童数[4月1日時点]
7,8 14	◆地域の行事に参加している生徒 の割合[中学生]	% 62.9	64.0	64.0	64.0	64.0	52.0	- E	В —	未確定	3			1		- 	R3は全国3位、東北地方で1位とトップクラスにあることから、今後もこの水準を維持していくことを目指します。		全国学力·学習状 況調査(文部科学 省)	0	0		◆地域の行事に参加している生徒 の割合[中学生]
9,31 15	▼総実労働時間[年間]	時間 1,761.6	1,710.1	1,684.4 1	,658.7	1,633.0	1,742.4 1,7	729.2 [	D D	25.2	44	45	5 下降	3	4	本県は、働き方改革の取組等により毎年減少し、全国水準との差も縮まりつつあるものの、全国と比較して所定内労働時間が長いことや、賃金水準が低くパートタイム労働者等の労働時間が長いことなどを背景に、大幅な労働時間の減少には至りませんでした。	R3時点で全国44位であることから、R8まで にR3時点の全国平均(1633.2時間)の水準 を目指します。	当該年の実績	毎月勤労統計調 査地方調査(厚生 労働省)	0			▼総実労働時間[年間]
II 家族 ・ 9,49 16 子育 て	共働き世帯の男性の家事時間割合 [週平均] ※女性の家事時間に対する割合	% 39.2	42.5	45.0	47.5	50.0	43.0	42.6 A	A D	31.5	-	-			-	令和5年度より男性の家事時間は増加しましたが、家事・育児の役割分担が十分に進んでいないことや家事自体の負担軽減が進んでいないことを背景に、女性の家事時間がより増加したことから、男性の家事時間割合は減少しました。	H29の34.2%からR3には39.2%と増加傾向にあることから、R8までに50%とすることを目標とし、毎年2.5ポイントずつ増加させてい	当該年度の実績	県民意識調査(岩 手県)	0		75	共働き世帯の男性の家事時間割 合[週平均] ※女性の家事時間に対する割合
10 17	犬、猫の返還・譲渡率	% ◆犬 100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0 10	00.0	A A	50.0	_	_			-	_	R1以降100%と高い水準にあることから、 今後も引き続きこの水準を維持していくこと を目指します。	(返還数+譲渡数)/収容頭数	県環境生活部調べ				犬、猫の返還・譲渡率 ◆犬
10 18		% 猫 98.8	99.1	99.4	99.7	100.0	100.0 10	00.0	A A	100.0	_	_	-	_	-	-	R4を98.8%と見込み、毎年0.3ポイント引上 げ、R8までに返還・譲渡率100%を目指しま す。	(巡湿数+譲波数)/拟谷與数	県環境生活部調べ				猫
	共働き男性の家事時間	分 125	***************************************	-	-	_			-   -	_		_		-	-	_			県民意識調査(岩手県)				共働き男性の家事時間 共働き女性の家事時間
6 6	50歳時未婚率	分 319 % 男②29.61	_	-		_	-		-   -						_				手県) 国勢調査(総務 省)				共働さ女性の家事時間 
6 7		% 女②16.70	_	_	-	-	_			_		_			-	_			国勢調査(総務省)				女
田 教 育 11,16 19	◆意欲を持って自ら進んで学ぼうと する児童生徒の割合	% /\ 82.5	82.5	82.5	82.5	82.5	82.6	83.8	A A	50.4	-	-			-	_	R3時点で全国平均(78.2%)を上回り全国 的に高い水準にあることから、引き続き全 国での高い水準を維持することを目指しま す。	「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」の設問に、「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	全国学力·学習状 況調査(文部科学 省)	0	0	182	◆意欲を持って自ら進んで学ぼう 2 とする児童生徒の割合 小
11,16 20		% 中 85.4	85.4	85.4	85.4	85.4	83.1 8	83.2 E	ВВ	48.7	_	_			_	_	R3時点で全国平均(81.0%)を上回り全国 的に高い水準にあることから、引き続き全 国での高い水準を維持することを目指しま す。	「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」の 設問に、「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の 割合	全国学力·学習状 況調査(文部科学	0	0	183	3 中
11,16 21	◆授業で、自分の考えを深めたり広 げたりしている児童生徒の割合	% /J\ 83.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.9	87.2 A	A A	51.5	-	-			_	-	R3時点で全国平均(78.8%)を上回り全国 的に高い水準にあることから、引き続き全 国での高い水準を維持することを目指しま す。	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の設問に、「そう思う」 又は「どちらかといえばそう思う」と回答した児童生徒の割合	全国学力·学習状 況調査(文部科学 省)	0	0		◆授業で、自分の考えを深めたり 広げたりしている児童生徒の割合 小
11,16 22		% 中 83.5	83.5	83.5	83.5	83.5	82.9	88.7 E	ВА	51.4	_	_			-	_	町に同い小牛にめることから、JIC 桃で土	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の設問に、「そう思う」 又は「どちらかといえばそう思う」と回答した児童生徒の割合	況調査(文部科学	0	0		中
12,15 23	人が困っているときは、進んで助け ようと思う児童生徒の割合	% <b>♦</b> /J\ 68	70	70	70	70	65	65 E	ВВ	46.4	_	_		_	-	_	R4に実施された類似の全国調査において、本県の水準が全国と比較して高いことを踏まえ、現状を維持していくことを目指します。	「人が困っているときは、進んで助けよう と思いますか」の設問に、「そう思う」と回 答した児童生徒の割合	岩手県学習定着 度状況調査	0	0		人が困っているときは、進んで助 けようと思う児童生徒の割合 ◆小
12,15 24		% ◆中 67	68	68	68	68	66	65 E	ВВ	48.2	_	_				-	R4に実施された類似の全国調査において、本県の水準が全国と比較して高いことを踏まえ、現状維持していくことを目指します。	「人が困っているときは、進んで助けようと思いますか」の設問に、「そう思う」と回答した児童生徒の割合	岩手県学習定着 度状況調査	0	0		<b>◆</b> 中
12,15 25		% 高 62	66	67	68	70	63	61 [	D D	-12.5	-	_			-	教育課程全体を通じて道徳教育を推進してきたところ、肯定的な回答(「そう思う」又は「どちらかといえば、そう思う」)をした生徒の割合は98%と高い水準を示しているものの、生徒自身に思いやりの心を強く自覚させるには至らず、「そう思う」と回答した生徒の割合を増やすことができませんでした。	小学校、中学校の現状を踏まえ、R8までに 70%を目指します。	「人が困っているときは、進んで助けようと思いますか」の設問に、「そう思う」と回答した児童生徒の割合	県意識調査	0	0		高
12,16 26	自己肯定感を持つ児童生徒の割合	% /J\ 76.4	78.0	78.0	79.0	80.0	82.0	80.6 A	A A	116.7	_	-		_	_	_	R3時点では全国平均(76.9%)と同程度の 水準となっていますが、東北6県平均 (78.8%)を下回っていることから、R8まで に、R3時点の東北6県平均を上回る80.0% まで上昇させることを目指します。						自己肯定感を持つ児童生徒の割 合 小
12,16 27		% 中 76.2	78.5	78.5	79.0	79.0	79.1 8	81.8	A A	200.0	_	_	_	_		_	R3時点では全国平均(76.2%)と同程度の 水準となっていますが、東北6県平均 (78.1%)を下回っていることから、R8まで に、R3年時点の東北6県平均を上回る 79.0%まで上昇させることを目指します。	「自分には、よいところがあると思う。」の 設問に、「当てはまる」又は「どちらかとい えば当てはまる」と回答した児童生徒の 割合	全国学力·学習状 況調査(文部科学 省)				中
13 28	◆体力・運動能力が標準以上の児 童生徒の割合	9% 小男 68.9	70.0	70.0	70.0	70.0	67.6	67.2 E	ВВ	48.1	10	11	下降	2	2 横	ははい	R3時点で全国平均(63.9%)を上回り、全国的に高い水準にあることから、今後もこの高い水準を維持していくことを目指します。	総合評価A+B+Cの児童生徒数/総合評価対象児童生徒数	全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)		0		◆体力·運動能力が標準以上の児 童生徒の割合 小 男
13 29		% 小女 79.1	80.0	80.0	80.0	80.0	77.3	74.4 E	ВВ	47.4	8	10	)下降	2	2 横	はい	R3時点で全国平均(72.4%)を上回り、全国的に高い水準にあることから、今後もこの高い水準を維持していくことを目指します。	総合評価A+B+Cの児童生徒数/総合評価対象児童生徒数	全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)		0		小 女
13 30		% 中男 74.8	75.0	75.0	75.0	75.0	72.7	75.0 E	ВА	49.2	5	8	3 下降	2	2 横	はい	R3時点で全国平均(66.9%)を上回り、全国的に高い水準にあることから、今後もこの高い水準を維持していくことを目指します。	総合評価A+B+Cの児童生徒数/総合評価対象児童生徒数	全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)		0		中男
13 31		% 中女 88.8	90.0	90.0	90.0	90.0	85.8 8	83.9 E	ВВ	47.1	7	9	) 下降	1	2	下降	R3時点で全国平均(84.4%)を上回り、全国的に高い水準にあることから、今後もこの高い水準を維持していくことを目指します。	総合評価A+B+Cの児童生徒数/総合評価対象児童生徒数	全国体力・運動能力、運動習慣等 調査(スポーツ 庁)		0		中 女
14,16 32	◆特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	% 96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	98.1	A A	50.5	_	_		_	-		R3の現状値を踏まえ、R8まで96.0%の維持 を目指します。	「学校は、幼児児童生徒の障がい等の状況を把握して、日常の指導・支援を適切に行っていますか」の設問に「とてもそう思う」「そう思う」と回答した保護者の割合			0		◆特別支援学校が適切な指導・支 援を行っていると感じる保護者の 割合
17,18,31 33	◆高卒者の県内就職率	% 74.1	84.5	84.5	84.5	84.5	71.5	70.8 E	ВВ	42.1	33	_	_	5	_		東北地方1位である山形県の83.1%(R4.3卒) を上回り、東北地方1位を目指します。		岩手労働局調査		0	20	◆高卒者の県内就職率 
18,19 34	将来の夢や目標を持っている児童 生徒の割合	% /J\ 82.1	83.0	83.3	83.6	84.0	83.8 8	83.6 A	A A	78.9	_	-		_	-	-	R3時点では全国平均(80.3%)を上回っていますが、東北6県平均(83.0%)を下回っていることから、R8までにR3年度時点の東北6県平均を上回る84.0%まで上昇させることを目指します。	「将来の夢や目標を持っていますか」の設問に対して、「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	全国学力·学習状 況調査(文部科学 省)	0	0 0	219	将来の夢や目標を持っている児童 9 生徒の割合 小

政策分野	関連する政策 項目 連	指標わて 参議 指標	考 <sub>標</sub> 指標名	単位			指標の状況 度目標値 R6	R7	計画 目標値 (R8)	実約 R5	責値 R6	達成度 R5 R6	<b>進捗率</b> (対R8目標)	R3	全国順位     R6	2370		比順位 R6	: R3との 比較 (達成度がC又はDとなった理由)	目標値設定の考え方	算出式	出典	自然 減,社 (	の重点 GX D	安全 X •		指標名
教		35		%	中	110	74.5	75.2	· ·	71.8	70.8	D D	-62.5	_	-	-	-	-	全国平均を上回りましたが、変化が激しく、 生行き不透明な社会情勢の中、将来に不 安を感じている生徒が一定数確認されまし	R3時点では全国平均(68.6%)を上回っていますが、東北6県平均(73.5%)を下回っていることから、R8までにR3年度時点の東北、県平均を上回る76.0%まで上昇させること	、「「特米の多や日保を持っていますが」の設 、 問に対して、「当てはまる」又は「どちらか ・ といえば、当てはまる」と回答した児童生	全国学力·学習状 況調査(文部科学	会減	C	安(	220	<b>ф</b>
																			た。  首都圏企業の大幅な初任給引上げや就職	を目指します。	徒の割合 						
	18,20	36	県内大学等卒業者の県内就職率	%		47.0 48.5	49.0	49.5	50.0	40.8	39.8	D D	-240.0	_	_	-	1	3	下降 倍率が高水準で推移し、県外企業からの 求人の増加が見られたことなどにより、県 内就職率が伸び悩みました。		だ 県内に就職した大学等の卒業生数/就職目 した大学等の卒業生数	岩手労働局調査	0	C		21	県内大学等卒業者の県内就職率
	11	8	学力が全国水準未満の児童生徒の 割合	%	小国	三語 50 —	_	-	_	42	42		_	_	_	-	-	-	_			全国学力·学習状 況調査(文部科学 省) 全国学力·学習状					学力が全国水準未満の児童生徒 の割合 小 国語
	11	9		***************************************	小算					43	55				_							定国子が子首代 沢調査(文部科学 省) 全国学力・学習状 沢調査(文部科学	•••••••••••••••••••••••				小 算数 ————————————————————— 中 国語
	11	1	1	***************************************	中数:		_	_	_	57	59	_   _	_	_	_	_	_	-	_			全国学力·学習状 況調査(文部科学					中 数学
	12,15,16	1:	2 不登校児童生徒数[千人当たり]	<b>人</b>	小	N 8.4 -	-	_	_	15.8	-	-   -	_	_	_	_	_	_	_			児童生徒の問題 行動・不登校等生 徒指導上の諸課		•	***************************************		不登校児童生徒数[千人当たり] 小
	***************************************			***************************************																		題に関する調査 (文部科学省) 児童生徒の問題 行動・不登校等生					
	12,15,16	18	3	<b>人</b>	中	39.6	-	-	_	55.1	-	-   -	-	-	_	-	-	_	-			行動・不豆枝等生 徒指導上の諸課 題に関する調査 (文部科学省)					中
	12,15,16	14	4	٨	高	19.8	-	-	_	20.9	_	-   -	_	_	_	-	-	-	_			児童生徒の問題 行動・不登校等生 徒指導上の諸課 題に関する調査					高
居住環	21,24	37	県外からの移住・定住者数	<u></u>	1	1,584 1,830	2,030	2,250	2,500	1,743	1,779	C D	21.3	_	_	_	_	_	全国的な人手不足の中、東京圏への転入 超過の状況が続くなど、東京一極集中への 動きが見られることや、U・Iターン就職者数 が減少したことにより、移住・定住者数が何	R4を1,650人と見込み、過去5年間の平均 伸び率が年10%であることから、以後、R	3 - 当該年度の実績	(文部科学省) 県商工労働観光	0	0 0	)	68	県外からの移住・定住者数
境・コミ																			び悩みました。 			部調べ					
ュ ニ テ ィ	21	38	汚水処理人口普及率	%		84.4 87.9	89.4	91.0	91.1	85.4	85.9	D D	22.4	35	37	下降	5	5 1	か、家屋の老朽化や経済的な理由等によ 横ばいり浄化槽の設置を希望する世帯数が伸び	ま 本県は全国平均に比べて低い水準にあることから、着実に整備を推進し、R7までにいわて汚水処理ビジョン2017に掲げる、91.0%となることを目指し、R8もさらに普及率を向上させることを目指します。	5 (下水道や集落排水にいつでも接続できるように整備された区域内の人口+コミュニティプラント・浄化槽(家庭雑排水も処理するものに限る)が整備された世帯の人口)・住民基本台帳人口	- 県県土整備部調				94	汚水処理人口普及率
					-														コロナ禍を契機とした新しい生活様式の定	人口減少や新型コロナウイルス感染症に	لــــــــــــــــــــــــــــــــــــ						
	22	39	三セク鉄道・バスの一人当たり年間 利用回数	回		10.2 14.3	16.3	16.4	16.5	11.8	11.1	D D	14.3	_	_	_	_	_	一方向を突破とした新しい主活様式の定着や運転士不足等を背景としたバス路線の統廃合等により利用者数が伸び悩みました。	者の減少傾向が続いているものの、利用 促進等の取組により、R6までにコロナ禍間 のH30と同程度の水準まで回復することを 目指します。	IJ	県ふるさと振興部 調べ	0	С	)	98	三セク鉄道・バスの一人当たり年 間利用回数
	23	40	地縁的な活動への参加割合	%		33.3 36.0	38.5	41.5	44.5	34.7	33.3	D D	0.0	_	-	-	-	-	_ 化等により、地縁的活動のあり方に変化か 生じており、参加割合は令和5年度から減	(  工四の44.3%を主宗で建成するより、毋平	を以また中の中は	県民意識調査(岩 手県)	0		0	,	地縁的な活動への参加割合
																			少しました。	2.0~3.0ポイントの上昇を目指します。	~	•在留外国人統計					
	25	41	在留外国人数[10万人当たり]	人		597.0 693.0	743.8	795.7	849.2	867.7	985.0	A A	153.9	45	45 ‡	黄ばい	4	4 1	横ばい	にR3時点の東北上位を上回る水準を目指し、毎年度第1期アクションプランと同様の伸び率(7%)を目指します。	在留外国人数÷県人口×100,000	(法務省) ・住民基本台帳に 基づく人口	0		***************************************		在留外国人数[10万人当たり]
	26	42	(文化施設入場者数) ※岩手県内公立文化施設協議会加盟施設 で行う自主催事入場者数	千人	2	2 33 4 126	<b>⑤</b> 145	6 165	⑦ 185	<b>4</b> 128	<b>⑤</b> 162	A A	84.9	_	_	_	_	-	_	コロナ禍で落ち込んだ入場者数を早期に 復させ、第1期アクションプラン期間中の最 大値である185千人を目指します。		岩手県公立文化施設協議会調べ	0	С	)	145	(文化施設入場者数) ※岩手県内公立文化施設協議会加盟施 設で行う自主催事入場者数
	26	43	(スポーツ施設入場者数) ※県及び県内市町村の公立スポーツ・レク リエーション施設入場者数	万人		486 594	649	703	757	651	639	АВ	56.5	_	_	-	-		-	コロナ禍で落ち込んだ入場者数を早期に 復させ、第1期アクションプラン期間中の最 大値である757万人を目指します。		県文化スポーツ 部調べ	0				(スポーツ施設入場者数) ※県及び県内市町村の公立スポーツ・レク リエーション施設入場者数
	22		5 三セク鉄道・バスの年間利用者数			1,214 –	_	_	_	1,367		-   -	_	_	-	_	_	_	_			県ふるさと振興部調べ 住宅・土地統計調					三セク鉄道・バスの年間利用者数
V 安 全	21	- 1'	6 持ち家比率	9/0	30	69.9 –	-		_	_	⑤ 70.3	-   -	_		_				県が公表した地震・津波被害想定調査結果を受け、久慈市等一部市町村において	R3時点で東北2位(1位は91.8%)である。	- - - 	査(総務省)					持ち家比率 
	27	44	自主防災組織の組織率	%		88.5 89.8	90.4	91.0	91.8	89.1	88.7	D D	6.1	27	_	-	2	_	県が公表した地震・津波被害想定調査結果を受け、久慈市等一部市町村において - 組織化が進んだものの、高齢化により担し手が不足したことなどにより解散した組織あり、組織率は伸び悩みました。			策現況調査(消防庁)			0		自主防災組織の組織率
	28	45	▼刑法犯認知件数	件	2	2,507 2,560	2,470	2,380	2,300	2,856	3,319	D D	-392.3	2	2 4	黄ばい	2	2 1	住宅等を対象とした侵入窃盗や自転車を対 横ばい。象とした乗物盗、SNSなどのインターネット を利用した詐欺が増加しました。	対 R8までに、R4の刑法犯認知件数が全国語 - 少だった秋田県と同水準まで減少させる。 とを目指します。 R3時点で全国4位であることから、R8まで	三 当該年の実績 	県警察本部調べ	0	С	0	)	▼刑法犯認知件数
	28	46	▼交通事故発生件数[千人当たり]	件		1.29 1.23	1.18	1.14	1.10	1.27	1.20	D B	47.4	4	4 4	黄ばい	1	2	下降	にR3時点での全国1位(1.12)を上回る1.10 件を目指します。 過去4年間の平均が7.3人とR3の全国平均	当該年の実績	警察本部統計		C	0		▼交通事故発生件数[千人当たり]
V	29	47	◆食中毒の発生人数[10万人当た り]	٨		1.3 7.3	7.3	7.3	7.3	3.3	3.4	A A	22.9	4	5	下降	2	2 1	横ばい		県内で発生した食中毒患者数×10万/県 内総人口	食中毒統計資料 (厚生労働省)					◆食中毒の発生人数[10万人当た り]
安全	30	48	新興感染症に対応可能な公立・公 的医療機関等の数	機関		- 27	37	50	60	55	63	A A	105.0	_	-	-	-	-	-	するため、新型コロナウイルス感染症対応 を担っている公立・公的医療機関等、特定 機能病院及び地域医療支援病院(60医療 機関)に感染症発生・まん延時に担うべき	公立・公的医療機関等、特定機能病院及び地域医療支援病院数	県保健福祉部調 ベ			0		新興感染症に対応可能な公立・公 的医療機関等の数
VI 仕																				医療体制をR8までに整備することを目指します。	<del>-</del>						
事・収入	31~39	49	◆一人当たり県民所得の水準 ※全国を100とした水準	%	1	87.4 3 90.0	4 90.0	90.0	<b>⑥</b> 90.0	③ 85.1	<b>4</b> 82.7	ВВ	46.6	_	-	_	-	-	_	を見込み高い水準の維持を目標としてきましたが、今後は各産業の一層の振興に取組むことにより同水準の維持を目指すこととし、将来的には更なる向上を目指します	り一人当たり宗氏が持く一人当たり国民が一	県民経済計算(内 閣府経済社会総 合研究所)	0	0 0	0		◆一人当たり県民所得の水準 ※全国を100とした水準
	31~35	50	◆正社員の有効求人倍率	倍		0.88 1.00	1.00	1.00	1.00	0.89	0.92	ВВ	45.3	34	38	下降	6	6 1	横ばい	R3は0.88倍とコロナ禍で大きく落ち込んた前年度から上昇し、R4も上昇傾向であるとから、R3の全国平均0.90倍を上回り、R5以降その水準を維持することを目指しま	-	一般職業紹介状況(岩手労働局)	0	0 0			◆正社員の有効求人倍率
	***************************************																	***************************************	全国では総実労働時間が微増している中 本県は、働き方改革の取組等により毎年》 少し、全国水準との差も縮まりつつあるも	咸	~	毎月勤労統計調					
	9,31	51	▼総実労働時間[年間]【再掲】	時間	1,7	,761.6 1,710.1	1,684.4	1,658.7	1,633.0	1,742.4	1,729.2	D D	25.2	44	45	下降	3	4	下降 のの、全国と比較して所定内労働時間が 長いことや、賃金水準が低くパートタイム党 働者等の労働時間が長いことなどを背景 に、大幅な労働時間の減少には至りません	た にR3時点の全国平均(1633.2時間)の水道を目指します。		查地方調查(厚生) 労働省)	0				▼総実労働時間[年間]【再掲】
	31	52	◆完全失業率	%		2.4 2.0	2.0	2.0	2.0	2.3	2.4	ВВ	58.8	15	29	下降	2	2   1	横ばい	R3時点で、全国15位・東北地方で2位であることから、全国10位・東北地方1位であ 山形県(2.2%)を上回って東北地方1位とな	る     当該年の実績	労働力調査(基本 集計)都道府県別 結果(総務省統計	0	***************************************			◆完全失業率
	17,18,31	53	◆高卒者の県内就職率【再掲】	%		74.1 84.5	84.5	84.5	84.5	71.5	70.8	в в	42.1	33	_	_	5	_	_	り、R5以降その水準を維持することを目指します。 東北地方1位である山形県の83.1%(R4.32を上回り、東北地方1位を目指します。		岩手労働局調査	0		)	20	◆高卒者の県内就職率【再掲】
	31,32,49	54	女性の全国との賃金格差 ※全国を100とした水準	%		84.4 85.8	87.0	88.2	89.4	85.9	83.3	A D	-22.0	44	45	下降	4	5	本県の女性の賃金は着実に上昇している ものの、全国の女性の賃金の伸び率が岩 手県を大きく上回っていることから、格差か	R1からR3の賃金の伸び率の平均値が 1.04%であることから、R4の全国との格差 を84.6%と見込み、R10年に東北で1位の	水石于东仍久住的黄亚人王国的久住的黄	全国賃金構造統計調査(厚生労働	0			25	女性の全国との賃金格差 ※全国を100とした水準
	20	EE			② F	5717 (0 5 021 (6	E) 5 000 (C)	F 0.4.7	(7) 6 00G	Ø 5 076	© 6.002		120.1	② 27	E 42	下吹	<b>2</b> 4	£ 5	拡大しました。 	を89.4%とすることを目指します。 中小企業が行う経営力の強化や生産性の		企業活動基本調	0				
	32		従業者一人当たりの付加価値額 			5,717 4 5,831			***************************************			A A			<b>(5)</b> 42				新型コロナウイルス感染症の5類移行に	方上位の水準を目指し、年1.0%の増加を 目指します。 	(人)	査(経済産業省)					従業者一人当たりの付加価値額
	32	56	開業率 ※雇用保険が新規に成立した事業所の比率	%	2	2) 3.2 4) 3.3	<b>⑤</b> 3.4	6 3.5	⑦ 3.6	<b>4</b> 2.4	⑤ 2.7	D D	-125.0	② 44	⑤ 41	上昇	② 4	⑤3	から前年度より上昇したものの、エネルギー価格・物価高騰をはじめとした経済情勢の影響により、創業計画の見直しを全儀なくされた創業準備者も少なくなかっ	受けるものですが、一方で、生産年齢人にの減少により、労働力不足と生産量の低が懸念される中であっても、若者等の起うマインドの醸成を図り、東北地方上位の水	コ ド 当該年度に雇用関係が新規に成立した 事業所数/前年度末の適用事業所数× 100	雇用保険事業年報(厚生労働省)	0				開業率 ※雇用保険が新規に成立した事業所の比 率
	_																		た。 			経済センサス、経済構造実態調査					 従業者一人当たりの製造品出荷
	33,34	***************************************	従業者一人当たりの製造品出荷額			2						***************************************			4 27			4 2	上昇	R8までに過去最高水準であるH30の31.0 万円を目指します。 早期にコロナ禍前(H30)の水準である 18295億円まで回復させ、国の観光立国		(総務省·経済産業省)		0 0	MC104C-004C-004C-004C-004C-004C-004C-004C		額
	35	58	観光消費額	億円	1,	,142.3 1,657.7	1,829.5	1,936.2	2,042.9	1,960.5	1,992.7	A A	94.4	_	-	-	2 5	_	_	1,829.5億円まで回復させ、国の観光立国 推進基本計画を参考に、R8には2,042.9億 円を目指します。 R3を5,260千円と見込み、国際情勢の変化	当該年度の実績	岩手県観光統計	0	C			観光消費額
	36,37	59	農業経営体一経営体当たりの農業総産出額	千円	2 5	5,312 4 5,390	§ 5,530 ©	5,670	⑦ 5,810	<b>④</b> 5,562	⑤ 6,353	A A	209.0	-	-	-	-	-	_	に伴う燃油・資材の価格高騰等、農業を取り巻く環境が一層厳しさを増す中にあって も、価格高騰の影響緩和対策や経営体質 の強化、生産性・収益性の向上等により、	双    農業産出額/農業経営体数(自給的農家	生産農業所得統計(農林水産 省)、県農林水産 部調べ	0	0   0	) 0		農業経営体一経営体当たりの農業総産出額
	0.00	000	林業就業者一人当たりの木材生産			4077			<u> </u>	<u> </u>										R8まで毎年約2.5%の上昇を目指します。 R3を4,630千円と見込み、国産材利用の機 運の高まりを踏まえ、スマート林業の導入		生産林業所得累計統計(農林水産					林業就業者一人当たりの木材生
	36,37	σ0	林業就業者一人当たりの木材生産 産出額	千円	(2) 4	4,3/7 (4) 4,700 (5	<b>2)</b> 4,770 <b>6</b>	4,840	<b>√</b> 4,910	7,098	5,320	AA	176.9		_		-			等による生産性の向上や県産木材の需要の拡大等により、R8まで毎年約1.5%の上昇を目指します。 主要魚種の不漁によりR3は3,840千円と	木材産出額/林業従事者数	省)、県農林水産部調べ	0	0 0	)   O		体系机来有一人当たりの不例生 産産出額 
	36,37	61	漁業経営体一経営体当たりの海面 漁業・養殖業産出額	千円	2 4	4,179 4 3,930	§ 4,020 6	4,110	7 4,200	<b>4</b> 5,705	⑤ 6,344	A A	695.6	-	-	-	-	-	_	なる減少が見込まれることから、主要魚科の資源回復や増加している資源の有効利用、新たな漁業・養殖業の導入により、当面、現状値までの回復を目標に、R8まで	[ ] 漁業産出額/漁業経営体数	漁業産出額統計 (農林水産省)、 県農林水産部調 ベ	0	0 0			漁業経営体一経営体当たりの海 面漁業・養殖業産出額
	38	62	農林水産物の輸出額	億円		43.0 52.0	57.0	63.0	69.0	44.4	_	D -	未確定	_	_	_	_	_	_	年約2.3%の上昇を目指します。 過去10年間で約2倍に拡大した本県の実績や、国の農林水産物・食品の輸出拡大 実行戦略の目標を踏まえ、R10に現状値の 2倍に拡大することを目指し、アジアや北	りと数年度の実績	岩手県貿易等実 態調査(日本貿易	0	0 0	)	59	農林水産物の輸出額
				- 1																等への輸出拡大、新規市場開拓により、Iには69億円を目指します。	88	振興機構)					
	39	63	グリーン・ツーリズム交流人口	千人回	1	1,090 1,160	1,200	1,210	1,220	1,148	1,303	ВА	163.8	-	_	_	_	-	_	による受入体制強化の取組促進により、I までに過去最高のR1を上回る1,200千人I へ到達することを目標とし、その後はR8ま で毎年約1%の増加を目指します。	R6 農林漁家民泊利用者数、観光農園利用 者数、農林漁家レストラン利用者数及び 体験型教育旅行受入人数の合計	県農林水産部調べ	0	0	0	62 259	グリーン・ツーリズム交流人口
	31~35	21-4-881-9-201-9-881-9-88   20-4-9-881-9-00-0-0-81-4	7 非正規職員・従業員率	000 MB1-688-688-688-688-688-688-68	51-081 <b>-</b> 0001-0051-0061-0061-0061	35.7 –	_	_	_	<b>4</b> 35.5	_		_	D-450-410-410-410-410-410-410-410-4	_	_	_		_			就業構造基本調查(総務省) 県民経済計算(内		***************************************	201420-420-1200 <b>48</b> -020-020-020-020-0	886.000=886 <sup>-</sup> 801-806-8061-000-806-8061-000-806 <sup>-</sup> 0	非正規職員•従業員率
	31~39		8 雇用者一人当たり雇用者報酬 9 現金給与総額[5人以上、毎月]		282		_	_	_	③ 4,101 287,572	<b>4</b> 4,191 304,582		_	_	_	_	- _	_	_			閣府経済社会総 合研究所) 毎月勤労統計調 査地方調査(厚生					雇用者一人当たり雇用者報酬 現金給与総額[5人以上、毎月]
	36,37		3 規金給与総額[5人以上、毎月]	億円		2,651 –	_			<b>4</b> 2,660		-   -			_	_		_	_			登地方調査(厚生 労働省) 生産農業所得統 計等(農林水産 省)				***************************************	現金和与総額[5人以上、毎月]  農業産出額
	36,37	2	1 林業産出額	千万円	2 1	1,782 -	-	_	_	<b>4</b> 2,567	⑤ 1,923		_	_	_	-	-	-	_			農林水産統計(農林水産省)					林業産出額
	36,37	2	2 漁業産出額	千万円	2 3	3,057 –	-	-	-	<b>4</b> 3,897	<b>⑤</b> 4,199	-   -	_	_	_	-	-	-	_			農林水産統計(農林水産省)					漁業産出額

政策分野	関連す る政策 項目 連	おてる	参考	指標名	単位	現状値	I	指標の <sup>2</sup> 年度目標		計画	実	績値 「	達成度		D2	全国順 <sup>位</sup>   R6	位   R3との   比較		頁北順· R6	位 R3との 比較	指標の動向が芳しくない要因 (達成度がC又はDとなった理由)	目標値設定の考え方	算出式	出典	4つの 自然 咸,社 GX	重点事项     DX	安全	KPI	指標名
VI 仕	33,34			製造品出荷額	億円	(R3) ② 24,94	R5 3 -	R6	R7	(R8)	R5 - ② 31,124	(5) 31,247	R5 R6	(対R8目標			上	-		上 上 上					会減		安心		製造品出荷額
収入	33		24	ものづくり関連分野の製造出荷額	億円	2 16,83	0 -				- <b>4</b> 22,294	⑤ 22,220				-		_	_					業省) 経済センサス、経 済構造実態調査 (総務省・経済産					ものづくり関連分野の製造出荷額
	34	***************************************	25	食料品製造出荷額	億円	② 3,769	9 –	-		-	- <b>4</b> 4,195	⑤ 4,362				_		_	_					業省) 経済センサス、経 済構造実態調査 (総務省・経済産			000 <b>0</b> 0-00-00-00-00-00-00	BO 400-400-400-400-400-400-400-	食料品製造出荷額
	34,38		26	水産加工品製造出荷額	  	2 674	4 -				- <b>4</b> 655	⑤ 653						-						業省) 経済センサス、経済構造実態調査 (総務省・経済産					水産加工品製造出荷額
	32		27	事業所新設率	%	28~( 11	① .7											_						(総務省・経済度 業省) 経済センサス(総 務省)					事業所新設率
-	40,41	64		世界遺産等の来訪者数	千人	417	7 712	805	898	991	778	807	A A	67.9	) –			_	-			コロナ禍で落ち込んだ来訪者数を早期に回復させ、国内最多の3つの世界遺産及び関連資産を有する地域間の連携・交流による一体的な取組等により、R8までに第1期アクションプラン目標値水準以上を目指しま	火きたの中体	県文化スポーツ部調べ	0				世界遺産等の来訪者数
文化	40,41	65		国、県指定文化財件数	件	574	4 580	583	586	589	584	588	A A	93.3	31	30	) 上昇	3	3	3 横ばい		す。 本県の豊かな歴史資源や伝統文化を適切 に保存、継承していくため、年あたり3件の 指定を目標として着実に文化財指定に取り 組みます。	当該年度の実績	県教育委員会調べ	0				国、県指定文化財件数
	41	66		◆民俗芸能ネットワーク加盟団体数	【 団体	393	3 393	393	393	393	3 422	429	A A	54.1	-			_	_			民俗芸能の担い手が不足していく中、今後 も減少が懸念されることから、民俗芸能の 保存継承のため、現状の水準を維持してい くことを目指します。	火きた中の中は	県文化スポーツ 部調べ	0	0			◆民俗芸能ネットワーク加盟団体 数
	42	67		◆岩手の代表的希少野生動植物の 個体・つがい数(イヌワシつがい数)	ペア	26	6 26	26	26	26	5 24	24	ВВ	46.2	2 -			-	-			全国で繁殖数が減少する中、今後も減少 が懸念されることから、全国有数のイヌワシ の繁殖地である本県に生息するイヌワシの つがい数を維持していくことを目指します。	, 当該年度の実績	県環境保健研究センター調べ	0		0		◆岩手の代表的希少野生動植物の個体・つがい数(イヌワシつがい数)
-5t	42	68		◆岩手の代表的希少野生動植物の 個体・つがい数(ハヤチネウスユキ ソウ個体数)		<b>4</b> 11!	5 115	115	115	115	5 96	142	ВА	51.7	, _			_	_			本県の希少な野生植物であるハヤチネウスユキソウの個体数は減少傾向にあり、今後も減少が懸念されることから、現状を維持していくことを目指します。	- ・ 当該年度の実績	県環境生活部調べ	0		0		◆岩手の代表的希少野生動植物の個体・つがい数(ハヤチネウスユキソウ個体数)
	42	69		自然公園の利用者数 ※自然公園ビジターセンター等利用者数	千人	339	9 401	431	462	493	3 446	433	A A	61.0	) –	_		-	_			新型コロナウイルス感染症の影響により近年減少傾向にありますが、R8までにコロナ前の水準(H26からH30の平均である493千人)まで回復することを目指します。	半また中の字様	県環境生活部調べ	0		0		自然公園の利用者数 ※自然公園ビジターセンター等利用者 数
	42	70		◆公共用水域のBOD(生物化学的酸素要求量)等環境基準達成率	%	95.	7 95.7	95.7	95.7	95.7	98.3		A -	未確定	Ē -	_	-	-				R3時点で全国平均よりも高い水準にあることから、今後もこの水準の維持を目指します。	: 達成水域/類型当てはめ水域	県環境生活部調べ	0		0	114	◆公共用水域のBOD(生物化学的酸素要求量)等環境基準達成率
	44	71	i	再生可能エネルギーによる電力自 給率	%	38.6	50.9	51.0	53.8	56.2	2 45.7	-	D -	未確定	Ē -			-	-			県内における再生可能エネルギーの事業計画等を踏まえ、R7までに見込まれている再生可能エネルギー導入の伸び率をR8以降も維持できるよう着実に取り組むことで、R10の再生可能エネルギーによる電力自約率66%を目指します。	県内の再生可能エネルギー発電電力量/ 県内需要電力量 計	県環境生活部調べ	0	0		122	再生可能エネルギーによる電力自 給率
	43	72		▼一般廃棄物の最終処分量	千t	② 37.8	3 4 37.0	⑤ 36.6	6 36.2	⑦ 35.8	3 4 36.7	<b>⑤</b> 34.8	A A	150.0	2 16	⑤ 20	) 下降	② 3	<b>⑤</b> 3	3 横ばい		新型コロナウイルス感染症の影響などにより、近年増加傾向となっていますが、H30に国の循環型社会形成推進基本計画で示された全国の削減率と同程度の削減を目指します。		一般廃棄物処理 事業実態調査(環 境省)	0				▼一般廃棄物の最終処分量
	43	73		▼一人1日当たり家庭系ごみ(資源になるものを除く)排出量	g	② 520	0 4 513	⑤ 507	<b>6</b> 500	⑦ 493	3 4 514	⑤ 497	ВА	85.2	2 2 17	5 24	1 下降	② 1	<b>⑤</b> 1	1横ばい		新型コロナウイルス感染症の影響などにより、近年増加傾向となっていますが、H30に国の循環型社会形成推進基本計画で示された全国の削減率と同程度の削減を目指します。	家庭系ごみ総排出量(資源になるものを 除く)/人口/365日	一般廃棄物処理 事業実態調査(環 境省)	0				▼一人1日当たり家庭系ごみ(資源になるものを除く)排出量
IX	42,44	***************************************	28	森林面積割合	%	① 74.6	6 –	-		-		-	-   -	••••••		_		_	_					農林業センサス(農林水産省)					森林面積割合
社会基盤	45	74		インターネットの利用率	%	83.9	9 86.4	87.6	88.8	90.0	83.3	84.4	D D	8.2	2 42	46	6 下降	5	Ę	横ばい   国の	価高騰等による経済環境の影響を受け の調査において令和6年の通信費が到減少となるなど、家計の状況に厳しさかられ、利用率が伸び悩みました。	実   宗が1/23一个25利用頻及(無固合を除く	当該年度の実績	総務省「通信利用 動向調査」を参考	0	0			インターネットの利用率
	46	75	,	河川整備率	%	51.9	9 52.3	52.4	52.5	52.7	52.7	52.8	A A	112.5	5 –			1	1	1横ばい		本県は全国平均に比べて低い水準にあることから、特に台風第10号災害で被災した河川の改修を重点的に推進するなど、河川整備計画に基づき毎年着実に整備を進めます。	整備済み河川延長/要整備河川延長	県県土整備部調べ			0		河川整備率
	46,48	76		緊急輸送道路の整備延長	km	32.	5 38.1	39.4	40.5	42.3	38.3	40.6	A A	82.7	-	-		-	-			災害発生時の迅速な避難や救急活動、緊急物資の輸送等を行うために重要な路線であることから、通行危険箇所やあい路の解消を図るため、事業計画に基づき毎年着実に整備を進めます。	年度実績の累計	県県土整備部調べ			0		緊急輸送道路の整備延長
	47	77		港湾取扱貨物量	万t	506	517	523	571	587	455	447	D D	-72.8	35	-	_	5	_	全     量   景   冷	国的にコロナ禍で落ち込んだ貨物取扱 が回復していないことに加え、中国等の 気減速や円安の影響により線材や冷災	世界的な物流混乱やフェリー航路の休止、 復興事業の減少に伴い取扱貨物量の伸び 悩みが見込まれますが、ポートセールスな ど港湾の利用促進に取り組むことで、R8ま でに、東日本大震災津波以降の最高値で ある令和元年の取扱貨物量(航路休止中 のフェリーを除く)を超える587万tを目指しま す。	当該年の実績	港湾統計(国土交 通省)					港湾取扱貨物量
	48	78		◆社会資本の維持管理を行う協働 団体数	団体	42	24 424	424	424	424	409	414	ВВ	48.5	5 –	_		-	_			人口減少等に伴い維持管理の担い手の減少が見込まれる中、現在の団体数を維持 することを目指します。		県県土整備部調べ	0		0		◆社会資本の維持管理を行う協働 団体数
参画	49	79		労働者総数に占める女性の割合	%	37.2	2 37.8	38.1	38.4	38.6	38.7	39.5	A A	164.3	3 24	21	上昇	5	6	6 下降		R3時点で全国24位ですが、本県の伸び率は全国よりも低い傾向にあることから、R4を37.5%と見込み、全国と同レベルの伸び率を達成することで、R8までにR3時点で全国14位の水準(38.6%)まで上昇させることを目指します。	当該年度の実績	賃金構造基本統計調査(厚生労働省)	0			164	労働者総数に占める女性の割合
	31,49	80		女性の全国との賃金格差【再掲】 ※全国を100とした水準	%	84.4	4 85.8	87.0	88.2	89.4	85.9	83.3	A D	-22.0	) 44	45	5 下降	4	Ę	5 下降 もの 手児	県の女性の賃金は着実に上昇しているのの、全国の女性の賃金の賃金の伸び率がえ 県を大きく上回っていることから、格差 大しました。	P1からP2の賃全の仲び家の平均値が	岩手県の女性の賃金/全国の女性の賃金(平均)	全国賃金構造統計調査(厚生労働省)	0			25	女性の全国との賃金格差【再掲】 ※全国を100とした水準
	49	81		障がい者の雇用率	%	2.3	37 2.40	) 2.5	0 2.50	2.70	0 2.42	2 2.50	A A	39.4	17	23	3 下降	1	1	1 横ばい		R3は、前年度より上昇して法定雇用率 (2.3%)を達成し、全国17位・東北地方1位で あることから、R8は、全国3位の佐賀県 (2.70%)の水準を目指します。	当該年度の美視	障害者雇用状況 報告書の集計結 果(岩手労働局)	0				障がい者の雇用率
	49,50	82		高齢者のボランティア活動比率	%	25	.3 26.7	27.	4 28.1	28.9	9 27.9	26.1	A D	22.2	<u> </u>	_		_	_	コロ 縮/ 一 一 業 齢 <sup>1</sup>	コナ禍を経て、地域行事等の活動機会 小に伴う担い手の減少や、定年後の京 継続に伴う余暇時間の減少等により、 者のボランティア活動比率は低調となり した。	R3の類似の全国調査では、全国4位となっており、全国的に減少傾向にある中で、R8までに、同調査の全国1位の水準(28.6%)を上回る水準を目指します。	当該年度の実績	県民意識調査(岩 手県) 県民生活基本調 査(岩手県)				175	高齢者のボランティア活動比率
	9,49	83		共働き世帯の男性の家事時間割合 [週平均]【再掲】 ※女性の家事時間に対する割合	%	39	.2 42.5	5 45.	0 47.5	5 50.0	0 43.0	0 42.6	A D	31.5	5 -	-		-	-	       した   した   した   した   世か	和5年度より男性の家事時間は増加したが、家事・育児の役割分担が十分に	しま 進 H29の34.2%からR3には39.2%と増加傾向 が にあることから、R8までに50%とすることを 時 目標とし、毎年2.5ポイントずつ増加させてし		県民意識調査(岩手県)	0				共働き世帯の男性の家事時間割 合[週平均]【再掲】 ※女性の家事時間に対する割合
	49	84		◆審議会等委員に占める女性の割 合	%	39	.9 40.0	) 40.	0 40.0	) 40.0	0 38.4	1 38.4	ВВ	48.0	) 19	-		2				国の第5次男女協働参画基本計画では、 R7までに「国の審議会等委員等に占める 女性の割合」を「40%以上、60%以下」とす る目標を設定していることから、R5までに 40.0%まで上昇させ、それ以降は維持することを目指します。		県環境生活部調べ	0			158	◆審議会等委員に占める女性の 割合
	50	85		ボランティア・NPO・市民活動への参加割合	%	15	.6 17.8	3 18.	9 19.5	5 20.0	0 15.1	13.9	D D	-38.6	5 -	_		-	-	傾「  -   れが   とな	コナ禍を経て、家族との時間を重視する 向や、新しい生活様式の定着等が見ら たことで、対面的・対外的な活動が基本 なるボランティア活動等への参加割合が 調となりました。	新型コロナウイルス感染症の影響もある 中、ボランティアや市民活動等への参加機 運の醸成等により県民の参画を促し、早期		県民意識調査(岩手県)					ボランティア・NPO・市民活動への参加割合
	49		29	管理職に占める女性の割合	%	29 12.3	3 -	-	_	-	<b>4</b> 15.0	_				_		_						就業構造基本調査(総務省)					管理職に占める女性の割合